

学生有志による大学「おもしろくする」情報発信プロジェクト 「けんひろ学生ブランドアンバサダー」が始動

【概要】学生有志による魅力発掘・情報発信プロジェクトが始動

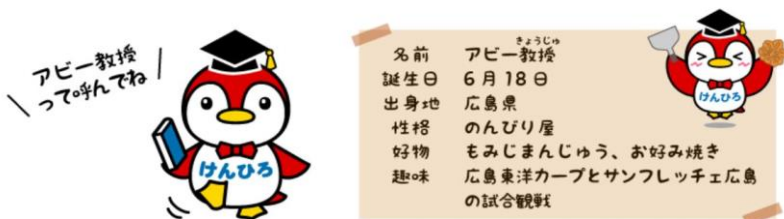
県立広島大学（広島市南区宇品東1-1-71，中村健一理事長兼学長）では大学の魅力を発掘して発信，知名度アップなどブランド価値を向上させる狙いから，学生有志によるチーム「けんひろ学生ブランドアンバサダー」をスタートさせました。学生たちが主体的に考え，職員の助けを借りながら進めるプロジェクトで，1年生から3年生までの31人が集まりました。コロナ禍のため，オンライン会議も活用しながら活動中です（写真上）。テーマは①卒業式・入学式をどう盛り上げるか②大学公式 SNS 運用の工夫③大学公式キャラクター「アビー教授」（画像下）の活用促進④大学PR動画制作⑤入試広報・志願者アップ⑥ウェブ版大学案内制作⑦キャリアセンターと大学院経営管理研究科（HBMS）との連携⑧ノベルティグッズ制作⑨ホームページ改善⑩英語での情報発信—などがあります。成果は順次，公表していく予定です。 *けんひろ=県立広島大学の愛称

■学内でPBLを実践

この取り組みは文部科学省が推奨する「課題解決型学習」=PBL (Project Based Learning) =の一環でもあります。県立広島大には民間企業から転じてきた職員も多く，学生たちはそのサポートを受けながら，実社会で経験できる実践力を身に付けてもらう狙いもあります。主体的に考える力，提案力，プレゼンテーションのノウハウ，大人たちをリードしていく力，取引先となる関係先との交渉力など経験できるテーマは多岐に渡り，実社会に出た際に確実に力となるはずです。



本学ではこれまでもブランド価値の向上に努めて参りましたが，学生たちの生の声を生かし，知恵を絞ってもらうことで，大学生活を豊かなものとする効果を期待しています。ひいては本学を志望する高校生など，若い世代をも意識した発信につながり，大学としての魅力向上につながると考えます。



広島県の鳥「アビ」だが，丸くてペンギンみたいだと噂されている頼りがいのある博識な水鳥。
広島が好きすぎて，体もみじ色になっただけ。
べたべた歩く姿がかわいいと評判で，「アビー教授」と呼ばれて慕われている。